

料の輸入で、日本はその分だけ水を

東大の沖大幹教授によれば、「食
料の輸入で、日本はその分だけ水を
使わないと済んでいます。農作物や家
畜を生産するには水が必要からだ。
日本ではどうかと言いますと、1
400年前、行基という偉いお坊さ
んが、大阪に「狭山池」と言うダム
をつくりました。1300年前には、
朝廷の命令で空海（弘法大師）が四
国の「満濃池」（世界最初のアーチ
ダム）を改修しております。灌漑用
ダムとして日本最大です。



空海

ダムは昔からつくられていました
日本ではどうかと言いますと、1
400年前、行基という偉いお坊さ
んが、大阪に「狭山池」と言うダム
をつくりました。1300年前には、
朝廷の命令で空海（弘法大師）が四
国の「満濃池」（世界最初のアーチ
ダム）を改修しております。灌漑用
ダムとして日本最大です。



行基

使わないと済んでいます。農作物や家
畜を生産するには水が必要からだ。

仮に食料を輸入せずに、これらを日
本で全部まかなうとすると、どれだ

けの水が必要になるか計算してみる
と、その総量は実に1230億トン

位になる。しかし、日本国内で使わ
れる農業用水は、現在の自給率40%
の生産とすると、国内分年間590億ト
ンであり、輸入分は640億トンになる。
これは日本人1人あたり毎日146
リットル（ドラム缶一本半）もの
水を輸入している勘定になる。

従つて、自給率10%上げるには、
100億トン以上の水が必要になる。
また、佐久間勇次日大名誉教授に
よれば、「現在60億人を突破した世
界人口、2025年には80億人に達
するものと予見される。そうなると、
世界的な食料飢饉となり深刻な水不
足になるだろう、石油と異なり食料
は輸出規制がかかり、いくら金を出
しても手に入らなくなるだろう。そ
れを考えると、ダムは今までの2倍
くらい必要になるだろう」

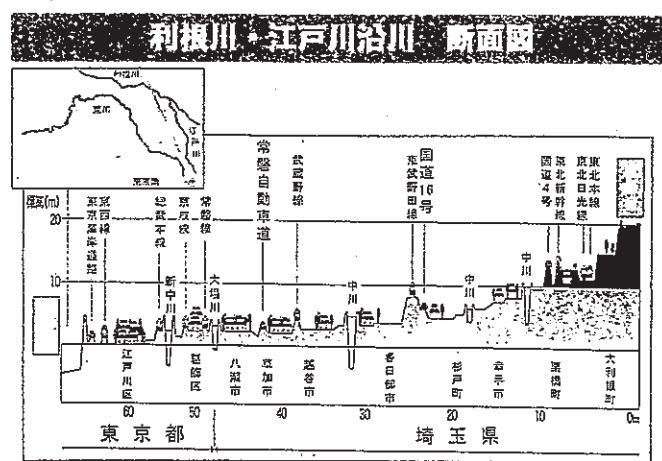
「洪水の危険」

利根川上流域の三分の一を占める
吾妻川流域に洪水調節のダムがない

最後に利根川の堤防から東京湾ま
での横断面を見てください。山地を
除いて、堤防が一番高いところにあ
ります。長年の洪水の繰り返し荷重
で老朽化がすすみ漏水箇所が何十カ
所も見つかり、破堤が心配されてお
ります。この堤防より低い箇所に1
000万人以上の人々が住んでいるか
らです。また、家康が利根川を東に
遷すまで、この横断面に沿って利根
川と荒川の洪水が合わさり江戸湾に
流れ込んでいたので、カスリーン台
風にみるまでもなく、このルートを
洪水は通りたがるのであります。た
また、カスリーン台風の時は、上
流域の三分の一を占める吾妻川流域
に雨が降つていなかつたのが不幸中
の幸いでした。

水害（銀座あたりで一丁四間、3.5
メートルの水深になつたと伝えら
れている）に遭つた寛保の大洪水の
二の舞になるところでした。百年お
きぐらいに遭遇した江戸時代の大水
害は吾妻川流域の大雨が原因になっ
ているが多いからです。

現在、東京では、地下空間が高度
に利用されています。地下構造物
は地震には強いが、水には弱いとさ
れております。利根川が破堤したら、
首都圏は壊滅してしまいます。
吾妻流域にたつた一つの八ツ場ダ
ムをいま！中止すれば、日本の未来
は絶望的です。



佐久間勇次日大名誉教授

